

Curriculum 2026年度開講科目 ※年度当初、変更となる場合があります。

卒業に必要な単位:124単位
 専門教育科目:76単位
 全学共通科目:30単位
 広域選択:18単位
 必修:32単位
 選択必修:10単位
 選択:34単位

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	社会学を学ぶ上で土台となる科目について幅広く学び、コンピュータ・スキルや社会調査の方法の基礎を身につける。	専門演習において文献の読み方やまとめ方、発表の仕方について学び、講義科目では多種多様な専門領域から自由に選択できる。	専門領域の調査や研究を深める。演習において、共同調査を実施して報告書を作成したり、社会調査法の高度な内容も修得する。	学びの集大成として、卒業研究に取り組む。演習担当教員のきめ細かな指導のもとに自身の社会学研究を進める。
必修	<ul style="list-style-type: none"> 社会学概論A/B 社会学基礎演習 ① 社会調査A/B 情報処理実習A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 社会学の歴史 社会学の理論 統計学基礎演習A 社会学専門演習I a/b 	<ul style="list-style-type: none"> 社会学専門演習II 	<ul style="list-style-type: none"> 社会学専門演習III
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> 社会参加実習 	<ul style="list-style-type: none"> 外書講読演習 統計学基礎演習B 	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査実習 統計学基礎演習B 	<ul style="list-style-type: none"> 社会統計学演習 質的調査法演習
選択	<ul style="list-style-type: none"> 市民社会論 国際社会論 デジタル社会論 多文化社会論 ③ 社会階層論 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルイノベーション論 ナショナリズム論 文化社会学 家族社会学 開発社会学 	<ul style="list-style-type: none"> 都市社会学 ② 地域と村落の社会学 産業と変動の社会学 雇用と労働の社会学 コミュニティ・ネットワーク論 	<ul style="list-style-type: none"> メディア・コミュニケーション論 社会運動論 現代メディア論 現代文化論 ジェンダー論 セクシュアリティ論
	<ul style="list-style-type: none"> 政治社会学 宗教文化論 異文化コミュニケーション論 正義論 グローバリゼーション論 リスク社会学 	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪と逸脱の社会学 福祉社会学 歴史社会学 災害社会学 環境社会学 教育社会学 	<ul style="list-style-type: none"> 医療社会学 平和学 排除と包摂の社会学 社会学特論I 社会学特論II 現代社会学理論研究 	<ul style="list-style-type: none"> 産業・組織心理学 障害者・障害児心理学 環境心理学 スポーツ心理学 発達臨床心理学 社会心理学
	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障 高齢者福祉 児童・家庭福祉 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉と包括的支援体制 民法A/B 労働法 	<ul style="list-style-type: none"> 行政法A/B 経済原論 社会政策a/b 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文

① 社会学基礎演習

グループ・ディスカッションやプレゼンテーション、学術論文の読み方、レポートの書き方などの技術を少人数クラスで学ぶことで、社会学を学ぶうえで必要とされる基礎的な学習能力を養います。

② 都市社会学

都市社会学の基本的な概念や諸理論、都市社会学による研究成果を学びます。これらを学習することによって、現代社会における都市問題について理解を深めることが目的です。

③ 多文化社会論

日本社会を多文化という視点から考えます。講義やゲストスピーカーの話や動画を聞くを通して日本社会の多様性を理解し、それに関わる様々な課題を考察する力を養います。

Message

身近な出来事から広がる社会の学び

駒澤大学は、ワンキャンパスで授業の際に移動が少なく、学生生活に理想的な環境です。大学周辺のお店を、授業の空き時間に友人と開拓するのが楽しみのひとつです。幅広い分野を学べる社会学専攻で、ファッションやメディアなどさまざまなテーマに触れる中で、私は特に政治的な意見がインターネット上で偏る理由や、ネットが現実社会に与える影響に関心を持つようになりました。中でも、SNSで同じ意見の人が集まる「エコーチェンバー現象」は、思考の多様性が失われる傾向があると感じています。こうした現象が社会の分断につながるかは議論の余地がありますが、学ぶ中で私自身もネット情報との距離を意識し、冷静に受け止める姿勢を心がけています。現在はゼミでテレビドラマを題材にした共同研究に取り組んでいます。ドラマに描かれる家族のあり方や専業主婦のイメージが、ネット上でどのように受け止められているかを分析しています。

象」は、思考の多様性が失われる傾向があると感じています。こうした現象が社会の分断につながるかは議論の余地がありますが、学ぶ中で私自身もネット情報との距離を意識し、冷静に受け止める姿勢を心がけています。現在はゼミでテレビドラマを題材にした共同研究に取り組んでいます。ドラマに描かれる家族のあり方や専業主婦のイメージが、ネット上でどのように受け止められているかを分析しています。



小瀬村 奈南さん
 社会学科 社会学専攻 3年
 埼玉県立所沢北高等学校 出身

1 Week Schedule

[1年次] 前期

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1				社会調査A		
2	健康・スポーツ実習					中国語IBa
3		中国語IAa		社会学概論A	英語IAa	児童・家庭福祉/児童福祉論
4	仏教と人間	情報処理実習A		英語IBa	新入生セミナー	
5	現代文明と哲学(1)	日本の文化と社会(1)				
6						